

「景観遺産の登録記念プレート」 贈呈・設置式

～北但大震災からの復興を今に伝える「豊岡震災復興遺産」～



令和8年6月26日（金）

「景観遺産の登録記念プレート」贈呈・設置式

1

豊岡中心部では北但大震災（1925年（大正14年））からの復興期に都市の防火性能を高めるために鉄筋コンクリート造で建築されたまち並みが今もなお残っています。

全国的にも希少性が高く、鉄筋コンクリート造及び防火木造建築物が、景観の形成等に関する条例に基づく景観遺産“北但大震災からの復興を今に伝える「豊岡震災復興遺産」”として、令和6年8月27日及び令和7年5月23日に登録されました。

このたび、令和8年5月23日（土）に3件の鉄筋コンクリート造及び防火木造建築物が景観遺産に追加登録されました。

県民局では、景観遺産の登録を記念し、また、2025年（令和7年）で北但大震災から100年という節目に、北但大震災の記憶と復興への思いが、永遠に引き継がれることへの願いを込めて登録記念プレートを作成しました。

今後、このプレートが、多くの人の目に触れ、北但大震災からの豊岡の人々やまちなみに思いを馳せていただきたいと思います。

このたび、記念プレートをご披露するに当たり、代表して3カ所において、贈呈・設置式を開催します。

《出席者》所有者等、但馬県民局長

令和8年6月26日（金）

エンドー鞆本社社屋

10:00

旧木和田商店社屋

10:30

衣川クリーニング店（木造建築）

11:00

【次第】 ※各建物の前にて

- 1 贈呈 但馬県民局長から建物所有者へ記念プレートを手交
- 2 設置作業 豊岡土木事務所まちづくり建築課職員により、建物の壁面へ設置
- 3 お披露目 記念撮影

「景観遺産の登録記念プレート」贈呈・設置式 行程図

2

令和8年6月26日（金）

エンドー鞆本社社屋

10:00

旧木和田商店社屋

10:30

衣川クリーニング店（木造建築）

11:00



⑥エンドー鞆本社社屋

昭和初期に建てられた木造2階建ての事務所兼住宅。タイル張りの洋風意匠の事務所棟と防火的な外装（外壁漆喰塗り、袖卯建の銅板張り）を施した和風意匠の住居棟が一体に立ち並ぶ構成は、震災復興期における豊岡の商家建築にみられる特徴である。

⑦旧木和田商店社屋

昭和初期に建てられた木造2階建ての事務所兼住宅。⑥と同様、洋風と和風の意匠の棟が一体的に立ち並ぶ豊岡の復興期における商家建築にみられる特徴を持つ。建物全体の腰回りを石張りとし、住居棟の袖卯建の端部が銅で被覆されているなど防火性能のある外装が特徴。

⑧衣川クリーニング店（木造建築）

昭和初期に建てられた木造2階建ての店舗。関東大震災後に流行した通りの正面に防火目的の不燃素材を用いてファサードを洋風に仕立て上げた「看板建築」の特徴を持つ。

景観遺産3カ所（赤枠で囲まれた建物）にて、贈呈及び設置作業を行います。



～北但大震災からの復興を今に伝える「豊岡震災復興遺産」～

<問い合わせ先> 但馬県民局豊岡土木事務所まちづくり建築課 TEL: 0796-26-3755